

第6次玉城町総合計画策定に向けた  
玉城町のまちづくりを考える団体アンケート  
結果報告書

(速報)

令和2年1月

# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査対象 .....	1
3 調査期間 .....	1
4 調査方法 .....	1
5 回収状況 .....	1
<b>II 調査結果</b> .....	<b>2</b>
(1) 団体の活動上の課題と町に期待することについて .....	2
(2) 今後の活動意向について .....	3
(3) 玉城町の現状について .....	5
(4) これからのまちづくりについて .....	7
(5) まちづくりへの自由提案について .....	10

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、第6次玉城町総合計画および第2期玉城町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて、町内で活躍される団体等を対象に、玉城町のまちづくりの課題や今後必要な取組みなどについての考えを把握することを目的として実施したものです。

## 2 調査対象

玉城町内の各種団体 48 団体を対象に実施しました。

## 3 調査期間

令和元年 12 月 2 日（月）から 12 月 25 日（水）

## 4 調査方法

手渡しによる配布、郵送による回収

## 5 回収状況

以下の 23 団体から回答を得ました。

### 回答団体一覧（23 団体）

玉城町民生委員、児童委員協議会、玉城町社会福祉協議会、玉城町民児協事務局、健康しあわせ委員、玉城町社会福祉協議会生活介護事業夢工房たまき、特定非営利団体法人たまき末芳園、虹の会、玉城町シルバー人材センター、玉城町老人クラブ連合会、青少年を育てる会、青色回転灯パトロール、玉城町人権擁護委員会、玉城町保護司会、NP、野球協会、社会教育委員会兼公民館運営審議会委員、はな♪はな♪文庫、玉城まちかど博物館、玉城町生涯現役促進協議会、玉城語り部会、玉城町青色申告会、玉城ふれあい農園、玉城ミュージックモンスターフェスティバル実行委員会（TMMF）

## II 調査結果

### (1) 団体の活動上の課題と町に期待することについて

問 貴団体の活動における課題や、その解決に向けて町に期待することがありますか？

回答のあった団体における活動上の課題や、その解決に向けて町に期待することがあると回答したのは21団体となっています。

なお、課題や町に期待したいことの内容をみると、主に「会員や参加者の減少や高齢化」、「団体や活動などの住民への周知」、「財政的な支援」、「行政からの情報提供や行政との連携」などに関する内容が多くなっています。

#### 《団体の活動上の課題と町に期待すること》

項目	内容（抜粋）
団体の活動上の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・団体会員の高齢化が進んでいる。</li><li>・団体会員が減少している</li><li>・参加者の高齢化が進んでいる。</li><li>・参加者が減少している。</li><li>・参加者が継続的に参加しない。</li><li>・次世代の若者や男性の参加者が少ない。</li><li>・住民同士のつながりが希薄している。</li><li>・住民の関心度が低い。</li></ul>
町に期待すること	<ul style="list-style-type: none"><li>・参加者を増やすために、活動への成果、特典などを検討する。</li><li>・町民に対して、団体の活動や成果などの周知や啓発を行う。</li><li>・行政からの情報提供を強化する。</li><li>・町民への情報共有や話し合いの場を提供する。</li><li>・農業生産に対する安定的な補助金を作る。</li><li>・地域福祉活動に対する金銭的な支援を充実する。</li><li>・自主財源の不足に対応した金銭的な支援を行う。</li><li>・障がい者福祉に関する予算、相談機能の充実、社会参加や就労を促す仕組みをつくる。</li><li>・図書館を新設する。</li><li>・役場の相談窓口との連携を強化する。</li></ul>

## (2) 今後の活動意向について

問 貴団体において、玉城町を良くしていくために今後、取り組んでみたいことはありますか？

回答のあった団体において、今後、取り組んでみたいことがあると回答したのは14団体となっています。

項目	件数
1 取り組みたいことがある	14
2 特にない	9
計	23

### 《今後、取り組んでみたい内容》

番号	今後の取組内容
1	・民生委員が高齢者を訪問する際に福祉課と行動をしてほしい。
2	・介護機器の貸し出し(車椅子以外)
3	・普段の散歩ルートを中心とした清掃活動(ごみ拾いなど)、綺麗な町づくり(花いっぱい運動)の行事への参加
4	・会員を増強するための事業を考えていく。
5	・各団体の自律分散的な組織をまとめる方法を考えてほしい。
6	・健康寿命をのばすための取組を検討していく。
7	・引きこもり対策
8	・保育所における人権教室が年2園で定着してきたことを受け、小学校でも年2校の実施を考えたい。また、内容的に準備が整えば中学校でも実施したいと考えている。
9	・出前読み語り会のようなものにも取り組みたい。
10	・新しい博物館等を開拓し、再結集を図りたい。
11	・各班月2回の行動では、抑止力を高めることは難しく、巡回数を増やすなど多数の協力者を望みたい。
12	・社会参加へのきっかけづくり、サポート、情報提供、情報交換の場
13	・月に1回程度、農家が農産物を持ち寄り、各自で値段を付けて販売する青空市場を開催する。
14	・加入者を増やすために何か特典を考えている。

問 貴団体において、玉城町を良くしていくために、町と協働で取り組んでみたいことはありますか？

回答のあった団体において、町と協働で取り組んでみたいことがあると回答したのは14団体となっています。

項目	件数
1 取り組むたいことがある	14
2 特にない	9
計	23

### 《協働で取り組んでみたい内容》

番号	協働で取り組んでみたいこと
1	・地域共生室と一緒に訪問してほしい。(年1回くらい)
2	・引きこもりの人を障害福祉サービスや一般就労につなげる。
3	・現在、民生委員OBが福祉協力員となっているが、今後は自治区に一人の福祉協力員を配置したい。
4	・町主催の高齢者を対象にしたイベントの実施。
5	・ペットボトルの回収(保健福祉会館にペットボトル等の回収機の設置)。 ・町内の障害福祉サービス事業所のパンフレットや作品等が置けるブースの設置。 ・障害に対する思い込みや偏見を解消するためにイベントや学習会等を企画してもらいたい。
6	・4団体、民生委員などが集まり、目的を一緒にした活動。 ・食改とコラボし、しあわせ委員会が食改から指導を受けて食事について学ぶ。 ・健康しあわせ委員ウォーキングに他の団体の人も来てほしい。
7	・町の清掃をもっと多くの団体ごとに手分けして持続的にやれるようにしていく。
8	・保護観察における社会貢献活動として、対象者に地域への貢献として公園や公的施設での清掃活動などをお願いしたい。
9	・税務課の人権担当者との連携を密にし、年6回の地区委員会にも出席してもらい、協力体制を作っていきたい。 ・今後、人権教室の拡張や町民への人権意識の高揚を図るための手伝いができるとうい。
10	・えんじょいbook s(旧図書館を考える会)とともに、玉城町図書館を充実し、子ども達、大人の居場所となるようにしたい。 ・子ども達が本好きになってもらう取り組みをしたい。
11	・協働といってもここ3~4年は県も含め行政の無関心状態が続いているため、この点を認識する必要がある。
12	・警察、役場担当者、青少年を育てる会などが協議し、年間の大まかなスケジュールを計画し、子ども達の行動に合った巡回と重点地域を定める。(例えば4~5月は新入生を考慮し、通学路中心に巡回。7月はプール帰りの時間帯中心に巡回。8月はお祭り会場中心に巡回など)
13	・就労相談窓口の継続、無料職業紹介の実施(行政の場合、資格取得が容易)。 ・ハローワーク端末の設置
14	・農家の若い後継者の組織を集め、町やJAの祭りで活躍できる場を作る。

### (3) 玉城町の現状について

問 まちの良いところ（魅力、特徴など）はどのようなところだと思いますか？

良いところ（魅力、特徴など）について 18 団体から回答がありました。

その内容は主に「子育てなどの福祉サービスが充実している」、「コンパクトで地形的に良い」、「自然や歴史が豊か」、「災害が少ない」、「企業が沢山ある」、「公共サービスなどが充実している」などが多くなっています。

#### 《まちの良いところ》

まちの良いところ	
福祉が充実している	玉城町は福祉が充実していると他町から移住してくる。
	子育て支援が充実していると聞いて転入してきたいと言う声をよく聞く。そのことをもっと発信すると良いと思う。
	子育て支援に力を入れている。
	福祉が充実している。
	高齢者にやさしい。
コンパクトで地形的に良い	地形的に圧迫感がなく、コンパクトで把握がしやすい
	玉城町は地形的に優れている。
	地形的にも近隣の市町にも行きやすい。
	町の規模がちょうどいい。
	小さな独立したまち。
自然や歴史が豊か	自然に恵まれている。
	街から離れると田んぼ、山、川などがあり、自然が豊富である。
	田丸城跡をはじめ、身近な自然が豊かである。
	歴史、自然が数多く残っている。
	自然、歴史などの魅力のある場所が多い。
食べ物美味しい	田園の風景美
	温暖で過ごしやすい。
	食べ物美味しい。
災害が少ない	食べ物美味しい。
	災害が少なく住みやすい。
	災害の少ないまち
	災害が少なく静かな農村地域
企業が沢山ある	災害も立地的に比較的少なく、静かで豊かな良い町だと感じている。
	町内外に企業が沢山ある。
	会社も適度にあり生活するのによい。
公共サービスや施設などが充実	大企業がある。
	活動できる施設があるところ
	下水道整備が進んでいる。
役場と住民の距離が近い	優良企業が複数あるためか、公共料金等が隣接市町村に比較すると安く感じている。
	住民と役場の距離が近い。
人が親切で温かい	適度にコンパクトで、行政の目が行き届きやすく、行政と町民の距離が近い。
	貧困家庭も少なく、人も親切で面倒見が良い。
まちが元気	顔の見える関係で人が親切
若者が多い	元気そうなどイメージが良い。
人口が増加している	若い人が多いところ
交通の便が良い	家が新築され、人口が増加している所は良い。
治安が良い	インターが近く交通の便が良い。
ボランティア活動	治安が良い。
その他	ボランティア活動
	少しずつ地域の人の活動（ボランティア）が広がりつつある。
	服装などに気を遣わなくてもいいため、ありのまま暮らせることができストレスが少ない。

問 まちの悪いところ（課題、問題点など）はどのようなところだと思いますか？

まちの悪いところ（課題、問題点など）について 16 団体から回答がありました。

その内容は主に「障がい者対策が遅れている」、「施設の老朽化」、「住民の事業への参加意識」、「役場職員の接客対応」、「情報発信方法の改善」などに関する内容が多くなっています。

《まちの悪いところ》

まちの悪いところ	
障がい者対策が遅れている	最近是他市町に比べ、障害者への対策が遅れている。 障害のある方にとって、様々な制度がある中、制度が複雑でわかりにくく、理解がしづらい状況がある。その中で誰にどのように相談すれば良いかがわかりづらい現状がある。
交通安全対策	町内の交通事故が多い。啓発活動も少ないのではないかと。また同じ交差点での事故が繰り返されるのに対策がなされていない。
交通が不便	交通の便が悪い。
買い物が不便	買い物をする所が少ない。
観光面が不備	観光面ではこれと言って行きたいところがないのが現実。
施設の管理・運営	施設の老朽化（体育館） 施設の管理（グラウンド内の器具等）
	文化が高い町だと言うが、図書館が衰えており、役場は小俣図書館と提携をしているというが、小中学生は歩いて行けというのか、それとも親が送り迎えをするのか。図書館の新設については、町民の声も多いと聞いている。
町のまちづくりの実効性	町の自発的な提案や実行を行ってほしい。町が自ら取組む意欲を示してほしい。 現状に甘んじている。
住民の事業への参加意識	行政は事業を行っているが、参加する人は何をやっても同じ人が参加している。男性の参加が少ないこと、家に引きこもる人が沢山いる。 若い人の積極的な参加がないところ
	人々に危機感が無い。災害があってもあまり問題視されず、喉元過ぎれば忘れ去られる。辛いことがあっても泣き寝入りする温和な性格の人が多い。
	どのまちもそうであるが、地域のつながりが薄くなってきている。
役場職員の対応	役場職員の接客指導が不十分である。 行政が関係している所でも行政の職員が来ない時がある。あいさつがない、不愛想な人が多い。 ・挨拶強化デーがあるが、役場内で率先して実施するべきである。役場の玄関を入っても言葉がないのが現状である。
	様々な講演会等を課ごとに行っているが、多すぎると思う。補助金使途の一環と思うが、ふだんの暮らしにもう少し目を向けてほしい。
情報発信方法の改善	若い人が広報たまきを見ないため、イベントの情報が行き渡っていない。スマホのニュースのようにメール、SNSで情報が入るようなシステムを作ってほしい。
	住民や子育て中の父母対象の講座などを企画されているが、せっかく良い内容であっても積極的なPR不足であると思う。担当者のもっと積極的な働きかけが必要だと思う。
情報公開・公聴活動の改善	行政と住民の距離が近すぎて、直接「これをやってほしい」と町民から声が出る。また、それに対して動いてしまうこと。これが行き過ぎるとサイレントマジョリティの声が拾えない。情報公開をきちんと行ってほしい。



#### (4) これからのまちづくりについて

問 多くの人に「住み続けたい」と思ってもらえるような玉城町にするために、町としてどのような取組み（事業など）が必要だと思いますか？

住み続けたいと思ってもらえるようにするための取組み（事業）のアイデアについて17団体から回答がありました。

その内容は主に「子育て支援の充実」、「公共交通機関の充実」、「働く場所の確保」などの内容が多くなっています。

#### 《多くの人に「住み続けたい」と思われるための取組み》

施策	取組みアイデア
子どもの福祉	子育て支援の充実。
	子育て支援。
	子育て支援センター、放課後児童クラブ、児童館などが設置されているが、内容の充実が必要である。そのためにサポーター、職員の質の向上、ビジョンの共有が必要。取り敢えず、場を用意したら良いという姿勢では豊かな健やかな子ども達が育たないと思う。
	子育て支援のさらなる強化（保育士、教員の補充、サポート、少人数教室の導入、児童向けの公園整備）。
	子育て支援センター、放課後児童クラブ、児童館の職員のほとんどがパート雇用というのでは、先へのビジョンが積極的に描けない。地域の子ども達を育てるためには専門性が必要。
青少年健全育成	若い人が参加したいと思えるようなイベントの調査（アンケート）をしてほしい。
人権の尊重	どのような方も受け入れられる（ダイバーシティ）社会ができる取組みが必要である。
生涯学習	図書館の充実にも気持ちのあるボランティアにというのではなく、司書職の設置を希望する。
生涯スポーツ	若者が楽しめる施設（体育館）の充実。
保健予防	一人ひとりが健康づくりをすることができる環境づくりが重要と思う。健康は人づくり、健康なまちづくりには健康を支援する住民活動が大変重要で、健康しあわせ委員活動、スポーツ推進委員活動、各種ボランティア活動、民生委員活動、サロン活動などの取組が必要。
医療	玉城病院に月に1回でも精神科医が来るようにしてほしい。
高齢者福祉	高齢者対策。
障がい者福祉	管轄が違々と色々な課を回って手続き等をすると思うが、障害のある方にとって相談窓口が一本化されるとわかりやすく安心して住み続けられる玉城町になるのではないかと思う。
防災	災害に強いまちづくり。
農林業	余っている（活用していない）田畑を農耕しながら暮らしていける。住处と農地、現役を退職した人々の要望はあると思う。（農業のノウハウから教え、空き家を貸す取り組みがあればと思う。）
商工業	企業誘致（雇用創出）。
	インター周辺の開発。
景観	優良企業（公害のない企業）を誘致し、町内で働く場を確保してほしい。
土地利用	のどかな田園風景を残したい。それにはその担い手の確保が必要。
公共交通	町の活性化は、魅力的な場所、道路網、店舗、住民、食べ物等が相互に混合し、融合して実現可能だと考える。すべて総合的に結合する政策が必要である。
	外出支援の充実（元気バス、福祉バスの増便）。
	将来、車が無くても、免許を返納しても移動できる仕組みを考える。
公園	もっと交通網の整備をしてほしい。元気バスが玉城町だけにあり、他市町の病院に通うには不便である。ある程度費用を個人負担しても良いため、せめて大きな病院まで走らせるバスがあればと思う。
住民自治と協働	公園が少なく町民の憩いの場がない。
	ボランティアの育成。

施策	取組みアイデア
	多世代と広域のネットワークづくり。地域活動をする人を増やす仕組みや仕掛けづくり
効率的な行財政運営	みんなの声をよく拾ってほしい。役場の空気が堅い。課長の顔がわからない。
	広報だけでなく、玉城町は事業が多くあるので、その時に住民にわかりやすくPRを行う。
	住民税、固定資産税を下げる。

問 多くの人に「訪れたい」と思ってもらえるような玉城町にするために、町としてどのような取組み（事業など）が必要だと思いますか？

訪れたいと思ってもらえるようにするための取組み（事業）のアイデアについて13団体から回答がありました。

その内容は主に観光魅力の開発として「田丸城跡の整備」、「インスタ映えスポットづくり」、「田丸駅舎のリノベーション」、「農業体験プログラム」などが、観光情報の発信では「SNSの活用」、「外出系スマホゲームとの連動」などが、おもてなし環境の整備として「食事する場所」、「綺麗なトイレ」、「外国人観光客の受入れ」などがアイデアとして提案されています。

### 《多くの人に「訪れたい」と思われるための取組み》

取組みアイデア	
観光魅力の開発	田丸城の整備
	田丸城跡の整備、玉城の名産品づくり
	インター周辺にアウトレットモールや商業施設の誘致
	民泊、農家民宿の充実
	インスタ映えする花畑を作る。国東山を整備してハイキングコースを作る。パワースポットを作る。
	お城広場を利用しやすく公園化し、芝生を敷いて子どもが遊べる遊具を充実したり、ドッグランを作り、ペットなどのイベントを開催したりする。公園づくりには費用をかけて専門のデザイナーなどに委託する。
	玉城ならではのコレ！を作る（食べ物、体験、文化、ものづくりなど）。大きくなく小さな企画を多発させ、リピーターを作る。住民と外から来た人との交流が生まれるような機会づくり。
	田丸駅舎の古さを生かしたリノベーションを行い、地域住民が一体となった居場所づくり。
	週替わりカフェなど住民が参加し、創業、起業のきっかけとなる企画
	農家の人と住民と一緒に野菜、果物などを作り、収穫の楽しみがあればと思う。（アグリがあるのですが）
観光情報の発信	玄甲舎、アスピア玉城の宣伝。
	SNSを使った情報発信。
	年代ごとに取り組みをする必要がある。（例えば中高年はインターネット発信、若者はSNS発信など）
	ポケモンGOで田丸城跡は全国サイトに載るような聖地として有名で、町内で200人が参加するライングループがある。そういう外出系スマホゲームと協働すれば多くのファンが来てくれる。
おもてなし環境の整備	まちなかに食事する所や休憩する所、駐車場、トイレの整備。
	あいさつ、笑顔にあふれていれば良い町になる。
	外国人観光客の受入れ。
	田丸駅前の活性化（トイレの美化等）を図ることでJRを利用した方がまた来たい気持ちになると思う。
	町の観光標識やパンフレット等は整備が進んでいるが、公衆トイレやお食事処などが少なく、観光客にとっては不便な町である。
町の活性化は、魅力的な場所、道路網、店舗、住民、食べ物等が相互に混合し、融合して実現可能だと考える。すべて総合的に結合する政策が必要である。	
イベントなどを継続し、イメージを下げないように努める。	
観光戦略づくり	自分の好きなことを貫く人は少なからずいるため、ブームに乗った策ではなく、誰をターゲットに、何を軸にしてまちづくりをするのかの戦略を定める。

## (5) まちづくりへの自由提案などについて

問 その他、玉城町のまちづくりについて、ご提案がありましたら自由にご記入ください。

その他、まちづくりへの自由提案については、10 団体から回答がありました。

その内容は「住民との協働を推進すること」「若者やよそ者の意見を把握して生かすこと」、「若者等の定住に向けた施策の充実」、「防災対策の強化」、「行財政運営」などについての提案が出されています。

### 《まちづくりへの自由提案》

まちづくりへの自由提案	
住民との協働の推進	行政と我々団体、区自治会や会長らが協力してあつて行ふ必要がある。現状は自治会との話し合いが無い。
	地域の人達との交流のきっかけづくりをこれからもお願いしたい。
	皆で考えながら意見を交換する場を作ってほしい。今の状態は状況改善にあまり役立っていないと思われる。
	住民と行政・企業がパートナーシップの関係性が見出せればよい。お互いに役割を持ちながら、共有や協働でのまちづくりを目指せば、中にも外にも魅力あるまちの発信が出来ていくように思う。
	住民に参画の意識があがれば、町に対する満足度も上がる。
	住民が、行政が実施しにくいサービスを提供し、地域課題解決を推進する地域運営組織として企画、運営を実施できる。
子ども・若者会議の実施	中学生を対象にしたグループワークを行い、意見を聞いてみる。
よそ者によるまちづくりの検討	本当に住みやすいが、これといった特徴が無い町のため、都会の人などを呼び込んで住んでもらい、新しい発想でまちづくりをしたらどうか。
若者の定住促進	高齢者へのサービスは充実しているが、若者が玉城に残ってもらえるように施設を整え、イベントへの参加に力を入れる。
全国から就農者の募集	これから農家も廃業になって米作りが失われていく。美味しい米、美味しい果物などを残したいので、町民が高齢化で農業ができないのであれば後継者を全国から募集して住まいなども確保して農業を継続してほしい。
観光・交流の促進	町内外の集客交流を促進させる魅力創造、発信の拠点づくりを行う。
	玄甲舎エリアを中心にした多世代交流を創出する地域運営組織の拠点づくり。
施設の改善	旧田丸小の体育館の天井を直してほしい。発砲スチロールが溜まっている。
防災対策	私が住んでいる付近に消火栓が無く、消防訓練の際に大変。一度、区長、組長が役場に声をかけたが、そのまま放置された状態であり、火災が近所で起きたら問題になる。
	誰もが参加できる楽しみもある防災訓練などを継続してほしい。防災に関しても情報公開することで行政の出来ること、住民が取り組むことが可視化できる。(例えば、備蓄品の数など)
買い物対策	来年の春に町内では大型スーパーが閉店すると聞いている。町内から歩いて行ける施設が無くなることは、高齢者や身障者等にとっては大きな問題である。
情報発信	誰もが情報発信をする SNS 時代。情報は隠しておくものでなく、常に発信していくもの。「あそこどうなっているの?」と住民の方が聞きに来られる前に、情報を小出ししていったほうがよい。情報は、鮮度が命。ある程度、現場の裁量に任せられる組織づくりを。情報発信時にいちいち「上や隣に聞かない」と言っている状況では、情報が常に流れている現在に沿っていない。それに面白い情報は作れないと思う。
行財政運営	福祉や人とのネットワークなどは数字では測れない部分。総務開催のセミナーでセールスプロモーションとブランディングについて説明があったが、人との関係性の部分は、まさにブランディング。「ここなら任せられる。ここにくれば大丈夫」と思ってもらうために長期的な視点が必要であり、そこは数値では測れない部分である。また、目標数値をクリアすることも大切であるが、何

### まちづくりへの自由提案

のためにその数値を設定し、どのように問題解決に取り組んだのかを大事にしたい。

もっと町内の施設を育てる風土が玉城町には欠如しているような気がする。

玄甲舎へのお金の使い方など、本当に必要な所にお金を使ってほしい。玄甲舎の話し合いで出た意見が反映されていない。

クラウドファンディングの利用。